プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ:留意点】
プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

※掲載方法を公示予定日が早い順に案件ごとにまとめて掲載いたします。新たに掲載いたしました質問回答についてはセルを水色にしております。

2026年11月4日 更新

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部･課	質問内容	回答	回答日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	詳細計画策定調査で整理された研修内容（案）の扱いについて 該当箇所：【業務内容】1-4 質問1：本事業の詳細計画策定調査では、カウンターパート（MoUI、RUPI、州都市計画局、対象都市）への聞き取り調査および現地踏査を踏まえ、研修3テーマについて、対象都市の課題に即した研修内容（案）が次のとおり整理されたと理解しています。 (A) 都市データ管理：GNSS測位・UAV・衛星データを用いた大縮尺の都市計画基本図（ベースマップ）の整備・更新、インフラ管理GIS構築、地籍・都市計画・インフラといった部局間データ共有。 (B) TOD：交通結節点（バスターミナル等）における長距離バス・乗合バス・三輪タクシー（フィーダー輸送）の動線整理、拠点間を結ぶ交通軸の規格化、ならびに上位計画（Structure Plan）および地区レベルの計画（LDP/NDP）による先回りした土地利用コントロール。 (C) スマートシティ：将来予測シミュレーションと計画策定支援・意思決定支援システム、官民の運行データを連携したターミナル運営、モバイル端末によるインフラ点検・維持管理の最適化（アセットマネジメント）。 また、詳細計画策定調査の調査対象都市における都市課題の例として、①急激な人口増に伴う交通結節点の混雑、②行政拠点と商業拠点が幹線道路1本のみで結ばれ、その沿道で無秩序な開発が進む都市構造、③部局間の調整不足による舗装直後の再掘削や排水不良といった課題に対し、上記(A)?(C)を組み合わせて優先インフラ計画案に結び付ける研修内容が整理されたと理解しています。 パイロット都市が事業開始後に選定されることを前提として、以下についてご教示ください。 (1) 本事業の研修方針・プログラム・教材開発（業務内容1）、パイロット都市での実践的な研修・演習（業務内容3）、および優先インフラ計画案の作成（業務内容4）は、上記の研修内容（案）を基本として実施することを想定されているでしょうか。 (2) 詳細計画策定調査報告書（上記の研修内容（案）を含む）は、公示時に配布資料として提供される予定でしょうか。また、指示書において、同報告書の該当部分を業務の前提として示すご予定でしょうか。	（1）研修プログラムやパイロット都市での実践的な研修は現時点では3つのテーマ（都市データ管理、TOD、スマートシティ）を想定していますが、ご提示頂いたような細かな内容までは確定しておりません。また、優先インフラ計画案も必ずしもこの3つのテーマに縛られるものではない想定です。 （2）詳細計画策定調査報告書については、配布資料とする予定です。なお必ずしも同報告書の内容に縛られるものではなく、詳細については追って公開予定の企画競争説明書をご確認ください。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	研修3テーマと優先インフラ計画案との関係について 該当箇所：【業務内容】1、3、4 質問：質問1の研修内容（案）では、都市データ管理で整備した基盤図・データを土台として、TODとスマートシティの手法を組み合わせ、パイロット都市の優先インフラ計画案の作成に至る一連のプロセスとして研修・演習を構成しています。本事業においても、3テーマを独立した研修モジュールとして扱うのではなく、このように一体的に設計・指導することを想定されているでしょうか。	現時点で3つのテーマを一体化して扱う想定はありません。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務従事者に求める専門性・実務経験について 該当箇所：【業務従事者の専門性】 質問：質問1の研修内容（案）を指導するためには、業務従事者に以下の技術に関する実務経験が必要になると考えられます。企画競争説明書において、業務従事者に求める専門性（類似業務経験の分野等）として、これらを明示する予定はありますか。 ① GNSS測位・UAV・衛星データを用いた都市計画基本図（ベースマップ）の整備・更新 ② 都市計画に関する情報を統合したインフラGISの構築・運用 ③ 将来予測シミュレーションおよび計画策定支援・意思決定支援システム ④ 交通結節点・交通軸の計画と、周辺の土地利用コントロールとの一体的な計画 ⑤ Python等によるGIS処理・業務フローのコード化（自動化）、およびモバイル端末を用いたアセットマネジメント	ご提示いただいた①～⑤の専門分野を業務従事者に求める専門性として企画競争説明書に明示する予定はありません。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	評価対象業務従事者について 該当箇所：【選定方法】企画競争 質問：評価対象とする業務従事者の担当専門分野と、業務管理グループ（副業務主任者）適用の有無について、現時点のご想定をご教示ください。	評価を対象とする業務従事者の担当分野は「業務主任／都市計画・開発管理／研修計画」と「都市データ管理／スマートシティ 」の2名を想定しております。業務管理グループ（副業務主任者）の適用を想定しています。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務内容4の「機材」の範囲について 該当箇所：【業務内容】4 質問：業務内容4の「機材含む」について、質問1の研修内容（案）の実施に関連する機材（例：GNSS受信機・UAV等のデータ取得機材、GIS・データ解析用のPC・ソフトウェア、現場点検用のモバイル端末等）が想定されているでしょうか。あわせて、コンサルタントに求められる役割（仕様の検討、調達支援、運用指導等）についてご教示ください。	機材の詳細とコンサルタントに期待する業務内容及び役割については、今後公表予定の企画競争説明書をご確認ください。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	研修教材の開発及びTOTの対象は、「TOD」、「スマートシティ」、「都市データ管理」分野のみでしょうか。	ご理解のとおりです。	2026年10月20日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	「TOD」、「スマートシティ」、「都市データ管理」が特出された、先方政府からのニーズ以外の理由を教えてください。	特段左記以外の理由はありません。	2026年10月20日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	前段の技術協力プロジェクトで対象となった5都市に対しては、今回新たに実施する「TOD」、「スマートシティ」、「都市データ管理」分野の研修は行わないということでしょうか。	前段の技術協力プロジェクトである「都市計画・都市管理能力強化プロジェクト」で対象となった5都市においては、本プロジェクトの対象都市として直接の関与は想定しないものの、能力強化された研修指導者が本事業終了後に当該5都市を含めた他都市へ研修を実施することが期待されるため、他都市にも汎用性の高い内容が期待されます。	2026年10月20日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	アディスアベバも研修の対象都市になりますでしょうか。	アディスアベバは研修対象都市ではありませんが、TOTの実施場所として想定しています。	2026年10月20日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	パイロットが優先インフラ計画に絞られた理由を教えてください。	本事業では地方中核都市向けの研修実施能力強化を主としつつも、地方都市での更なる都市インフラ整備の必要性を念頭に置いたためです。	2026年10月20日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発及び都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務内容３の【実践的な研修・演習のための研修教材を開発し、選定されたパイロット都市において実施する】は、「TOD」、「スマートシティ」、「都市データ管理」分野のみを対象とするのでしょうか。	ご理解のとおりです。	2026年10月20日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	ウガンダ国「送電系統保護能力向上プロジェクト」と同様の機材を導入する計画でしょうか？	本案件では、先行技術協力プロジェクトにより構築された事故解析体制及び導入済み機材との連続性・整合性を確保することを基本方針として、送電網事故解析能力強化に必要な機材の導入を想定しています。具体的な機材構成や仕様については、協力準備調査を通じて先方ニーズ、既設設備との整合性及び事業効果等を確認の上で検討いただく予定です。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	上記プロジェクトに関連した機材納入後、先方負担事項等現時点で把握されている変更点はございますか？	現時点では、先行プロジェクトに関連した先方負担事項等の情報は把握しておりません。本案件では新たな変電所への展開を想定しているため、運用維持管理体制、人員配置、通信環境、電源設備、データ管理体制等については、協力準備調査において改めて確認いただく予定です。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	大規模停電の実績や報告書に関する情報について、現時点で把握されている情報があればご教示ください。	先行プロジェクトでは、系統事故発生時の原因分析や事故区間の特定に時間を要していることが課題として整理されており、停電事故解析能力の向上が必要とされています。また、停電事故による経済損失に関する分析も実施されています。一方で、現時点で把握している資料では、大規模停電に関する統計情報や発生実績が体系的に整理されているわけではありません。そのため、対象系統における事故発生状況や近年の主要事故事例については、協力準備調査において追加的に確認いただきたいと考えています。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	対象変電所における事故記録データの収集については、系統事故発生時の時刻同期精度の確保が重要になると考えます。GPS時刻同期設備等の適用状況について、現時点で把握されている情報があればご教示ください。	ご指摘のとおり、事故解析においては時刻同期精度の確保が重要と認識しています。このため、対象候補変電所におけるGPS時刻同期設備については、既存設備の有無に関わらず、本計画にて新設することを基本として整備する予定です。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	対象系統において想定される事故解析機能は、単なる事故記録収集に留まらず、広域擾乱発生時の事故シーケンスや保護協調の検証まで含むことを想定されていますでしょうか？	先行プロジェクトでは、事故記録の収集だけでなく、事故原因分析、保護リレー動作の確認、保護リレー整定管理の改善等に取り組んでおり、本案件においても、単なるデータ収集にとどまらない活用が期待されると考えています。 もっとも、現時点で具体的な機能要件を確定しているものではなく、広域擾乱時の事故シーケンス解析や保護協調検証の範囲についても、先方実施機関のニーズ、既設設備の状況及び事業効果を踏まえ、協力準備調査において詳細を確認・検討いただく予定です。	2026年10月13日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	無償案件の調達対象は機材のみですか。建屋等の建築設備は含まれないですか。	本案件で想定される調達対象は機材のみ（その据え付け工事を含む）であり、基本的に建築設備は含まれません。ただし協力準備調査において既存建物およびその設備に対してその移設・増設・撤去・復旧の必要性が認められる場合は調査時にご提案頂くようになるかと思われます。	2026年9月25日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	機材の導入のみの場合、設置先はカウンターパートの既設設備（変電所等）の内部でしょうか。	機材の導入場所はカウンターパートの既設設備の内部となりますが、本案件において詳細を確定していくことを想定しています。	2026年9月25日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送変電網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	機材の導入地点は、何か所くらいを想定されていますか。	現状、大カンパラ広域圏及び周辺5県（リラ県、ソロティ県、マサカ県、ムバララ県、 イガンガ県）における13変電所を想定しておりますが、先方実施機関と優先順位や妥当性を協議の上、本案件において詳細を確定していくことを想定しています。	2026年9月25日
2026年11月4日	26a00850000000	全世界（広域）ビッグデータを活用した交通事故分析・交通安全対策に係る調査研究（プロジェクト研究）	社会基盤部運輸交通グループ	現地調査の有無：本業務において、開発途上国における現地調査（渡航）は想定されていますでしょうか。それとも国内における文献調査・ヒアリング・分析が主となりますでしょうか。 現地調査（渡航）を検討されている場合、想定されている対象国等もございましたらご教示願います。	国内調査に加えて、当該分野における先進的な技術・手法の開発・活用実績や途上国への展開実績を有する国を対象として海外調査を想定していますが、具体的な調査対象国については受注者からの提案も踏まえ選定する予定です。 詳細については、公示の際に配布する公示資料をご確認ください。	2026年10月26日
2026年11月4日	26a00850000000	全世界（広域）ビッグデータを活用した交通事故分析・交通安全対策に係る調査研究（プロジェクト研究）	社会基盤部運輸交通グループ	業務従事者の専門性要件：留意事項に「交通安全計画の専門性」とありますが、IT/データアナリティクスやビッグデータ解析に関する専門知識・実績を持つ従事者の配置も評価要件（あるいは指定分野）として想定されていますでしょうか。	IT/データアナリティクスやビッグデータ解析に関する専門知識・実績を持つ従事者の配置について評価要件（あるいは指定分野）として想定していません。	2026年10月26日
2026年11月11日	26a00816000000	フィリピン国道路構造物の大規模更新・修繕能力強化プロジェクト	社会基盤部運輸交通グループ	事業事前評価表に記載された履行期限は36カ月でしたが、プレ公示に記載の履行期間は24カ月です。24カ月として検討すべきでしょうか。	プレ公示での情報に誤記載がありました。申し訳ございません。履行期間は36か月が正しい情報となります。なお、事業事前評価表は近日中に公開予定です。	2026年10月22日
2026年11月11日	26a00816000000	フィリピン国道路構造物の大規模更新・修繕能力強化プロジェクト	社会基盤部運輸交通グループ	事業事前評価表にパイロットLBRR工事及び難度の高い技術を伴う修繕工事の施工・監督を支援の記載がありました。パイロットLBRR工事は実施するとして検討すべきでしょうか。	パイロットLBRR工事はフィリピン側の予算措置により実施する計画ですので、フィリピン側による予算措置のタイミングに左右されますが、実施する方針でご検討をお願いします。	2026年10月22日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年11月11日	26a00842000000	フィジー国災害リスク管理センター整備計画準備調査（ QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第二課	【 業務従事者の専門分野】について『 本案件では、防災・ＩCTに係る専門性を求める。』とありますが本調査は無償資金協力の準備調査でもあり、建築計画等（ 無償の業務主任の一般的な専門分野）の専門性も防災・ＩCT同様に重視されるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。ただし、業務主任が「 防災・ＩCT」と「 建築計画」の双方を備えていることは必ずしも必須ではなく、両方の専門性が十分に担保される団員構成をご提案いただきたいと考えております。	2026年10月16日
2026年11月11日	26a00842000000	フィジー国災害リスク管理センター整備計画準備調査（ QCBS－ランプサム型）	無償資金協力部業務第二課	本件は「 業務管理グループ制度及び若手育成加点 」に該当しますでしょうか？	該当予定です。	2026年10月16日
2026年11月11日	26a00845000000	バングラデシュ国包摂的リスク緩和・マイクロ保険プロジェクト	ガバナンス・ 平和構築部ジェンダー 平等・ 貧困削減推進室	成果６の長期専門家の任務期間は、当プロジェクトの履行期間（予定）である2026年2月～2030年2月と同じ期間になりますでしょうか。それとも、当プロジェクトが開始され、成果1-5の活動がある程度進んでから配置される予定でしょうか。	2027年4月からの派遣を予定しております。	2026年10月30日
2026年11月11日	26a00845000000	バングラデシュ国包摂的リスク緩和・マイクロ保険プロジェクト	ガバナンス・ 平和構築部ジェンダー 平等・ 貧困削減推進室	成果1-5の中に、パイロット活動等の評価分析を行うような業務も含まれますでしょうか。	パイロット活動等の評価分析を行う業務を含む予定です。	2026年10月30日
2026年11月11日	26a00845000000	バングラデシュ国包摂的リスク緩和・マイクロ保険プロジェクト	ガバナンス・ 平和構築部ジェンダー 平等・ 貧困削減推進室	準マイクロ保険の定義を教えてください。	本プロジェクトにおける「マイクロ保険」の定義は以下となっています。「The term "microinsurance" used in the Project indicates not only insurance models implemented through partnerships with licensed insurance companies, but also quasi-insurance services provided by POs, including the SS to be experimented under the Project.」現状における保険に関するバングラデシュ国内の規定（Insurance Act 2010）において、保険引受人は保険業者としてライセンス取得済み業者のみが提供可能となっており、マイクロ保険に関しても本規定が適用されることとなっています。他方で、マイクロファイナンスに係る規定（MRA Rule 2010）では、マイクロファイナンス機関（MFIs）は、保険業者ではないものの、提供する融資に付帯する形態で、また、MFIs自身が管理するMembers' Welfare Fundから支払う保険機能を持ったサービスを提供できることとなっています。本プロジェクトにおいてはMRA Rules 2010に準拠したサービスをquasi-microinsuraceとして呼称しています。（本公示配布資料 詳細計画調査報告書参照）	2026年10月30日
2026年11月11日	26a00868000000	ウズベキスタン国切れ目のない本人中心・ 目標指向型リハビリテーション サービス提供強化プロジェクト【 有償勘定技術支援】	人間開発部保健第二グループ	2年間で約90人月の計画となっておりますが、想定されている実施体制についてご教示いただけますでしょうか。特に、理学療法士、作業療法士等の医療専門職について、長期または短期での現地配置・ 張り付き型の支援を想定されているかを確認したく存じます。 また、想定されている専門家チームの人数、全体渡航回数目途等もご教示いただけますと幸いです。	掲載内容に誤りがあり、5年間で約90人月を想定しております。専門家チーム人数及び渡航回数等は、公示をご確認いただきますようお願いいたします。	2026年10月27日
2026年11月11日	26a00868000000	ウズベキスタン国切れ目のない本人中心・ 目標指向型リハビリテーション サービス提供強化プロジェクト【 有償勘定技術支援】	人間開発部保健第二グループ	本事業の主たるカウンターパート 機関は保健省との理解でよろしいでしょうか。また、国家社会保護庁（ NASP）の役割や位置づけについてもご教示ください。	ご理解のとおり、カウンターパート 機関は保健省です。NASPは協力機関の位置付けです。詳細については公示内容をご確認ください。	2026年10月27日
2026年11月11日	26a00868000000	ウズベキスタン国切れ目のない本人中心・ 目標指向型リハビリテーション サービス提供強化プロジェクト【 有償勘定技術支援】	人間開発部保健第二グループ	本件の主な対象患者についてご教示ください。脳卒中患者を中心とした急性期から生活期までのサービスモデル構築を想定されているのでしょうか。あるいは、神経疾患、外傷、障害者を含む幅広いリハビリテーションニーズを有する人々を対象としているのでしょうか。	本事業の対象疾患は、脳卒中、心血管疾患、脊髄損傷及び小児脳性麻痺を想定しています。詳細については、公示内容をご確認ください。	2026年10月27日
2026年11月18日	26a00832000000	コートジボワール国持続的水産資源共同管理に向けた制度整備と実践	経済開発部農業・ 農村開発第一グループ	「 本業務には個別専門家2名を配置予定」とございますが、この案件の専門家2名を想定しているのか、それともこの案件の専門家とは別に2名の個別専門家が配置される予定しているのか、どちらでしょうか？	この案件では、水産資源管理と組織強化の双方の分野が求められるとの考えから、専門家2名の配置を想定しております。また、当該分野における人材育成の観点も踏まえ、経験豊富な専門家と若手専門家を組み合わせた体制を想定しています。	2026年10月8日
2026年11月18日	26a00904000000	ベナン国コミュニティ協働型学習の質向上支援プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	【 背景】には、個別専門家「 学校運営改善アドバイザー」支援のもと、（ 中略）試行活動を実施した、とありますが、報告書等の情報共有をいただけますか。	公示の配布資料とする予定です。	2026年10月26日
2026年11月25日	26a00888000000	マダガスカル国無収水削減能力強化プロジェクト	地球環境部水資源グループ	業務管理グループの設置（ 若手加点）を想定していますしょうか。	適当予定です。	2026年10月23日
2025年11月25日	26a00898000000	インドネシア国インドネシアにおける開発協力の足跡・ 共創パートナーシップ形成にかかる情報収集・ 確認調査（ QCBS-ランプサム型）	東南アジア・ 大洋州部東南アジア第一課	過去の類似案件と同様に、利益相反の排除の観点から「調査対象となっている業務に参画した社および個人の参加は認められない（※基礎情報収集・確認調査、事後評価は除く）」という要件が適用される想定でしょうか。	ご照会の項目につきましては、11月25日公示予定の仕様書をご確認ください。	2026年10月29日